

事務所案内図



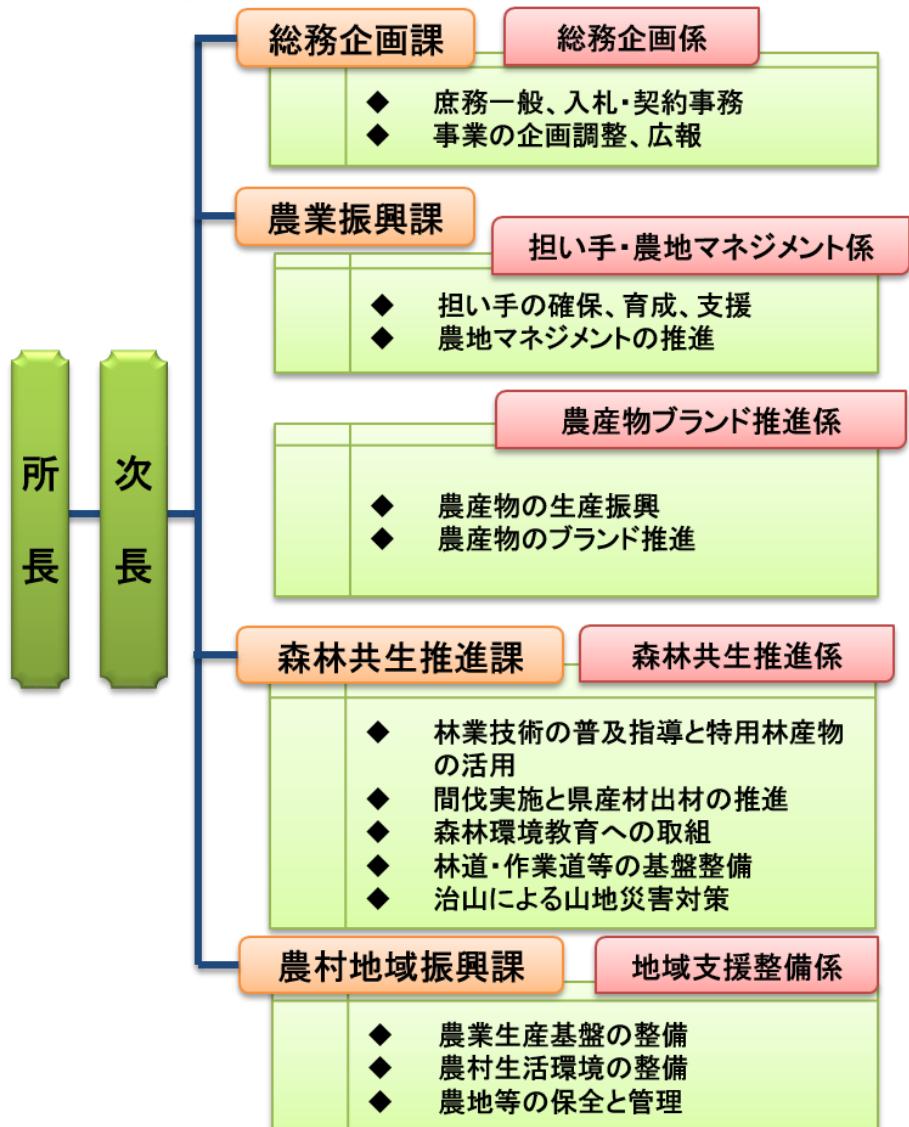
奈良県東部農林振興事務所 (榛原駅から車で約20分)
 〒633-2221 奈良県宇陀市菟田野松井486-1
 総務企画課 電話(代表)0745-84-9500
 FAX 0745-84-2127
 森林共生推進課 電話(直通)0745-84-9501
 農村地域振興課 電話(直通)0745-84-9502

農業振興課 (榛原駅から車で約15分)
 〒633-0227 奈良県宇陀市榛原三宮寺125
 (大和野菜研究センター内)
 電話番号 0745-82-3248 FAX 0745-82-1118

奈良県東部農林振興事務所



組織と仕事



統計情報

市村名	経営耕地面積 (a)	森林面積 (ha)	農家数(戸)	林家数(戸)	認定農業者数(人)	うち法人	エコファーマー数(人)
宇陀市	98,772	18,326	1,997	1,191	45	11	26
山添村	35,958	4,131	595	458	34	3	12
曾爾村	5,774	4,130	202	255	13	1	0
御杖村	8,917	7,012	271	283	23	2	4
管内計	149,421	33,599	3,065	2,187	115	17	42

注)経営耕地面積、農家数、林家数:2015年農林業センサス
 森林面積:平成29年度奈良県林業統計(H31.3月現在)
 認定農業者数:東部農林振興事務所農業普及課調べ(H30.4.1.現在)
 エコファーマー数:東部農林振興事務所農業普及課調べ(H30.4.1.現在)

国営総合農地開発事業	農地造成面積(ha)	区画整理面積(ha)	対象地域
大和高原北部	355	355	宇陀市(室生)、山添村、奈良市、天理市
大和高原南部	317	242	宇陀市(大宇陀、菟田野、榛原)、桜井市

東部農林振興事務所管内図

農村地域振興課県営事業

記号	事業名	地区名
1	県営農地環境整備事業	曾爾地区
2	一般農道整備事業	大野向洲地区
3	農業水路等長寿命化・防災減災事業	大和高原南部地区

林業振興課県営事業

記号	事業名	施工箇所
ア	緊急予防治山事業	宇陀市室生西谷
イ	復旧治山事業	山添村片平

管内の直売所

記号	名称	住所または所在地	電話
A	伊勢本街道「高井の驛(えき)」	宇陀市榛原高井134-1	080-6170-3427 (直売所専用)
B	大和高原わくわく宇陀いち	宇陀市榛原萩原1263-6	0745-82-6518
C	阿騎野新鮮野菜直売所	宇陀市大字宇陀拾生714-1 道の駅「宇陀路大宇陀」内	0745-83-1300
D	菟田野アグリマート	宇陀市菟田野松井129-1	0745-84-3033
E	道の駅「宇陀路室生」こもれび市場	宇陀市室生三本松3139-2 道の駅「宇陀路室生」内	0745-92-5072
F	花の郷 滝谷花しょうぶ園	宇陀市室生瀧谷348	0745-92-3187
G	エコーブ榛原店「榛原広場」	宇陀市榛原額井1050-1	0745-82-7611
H	神野山生産物直売所「みどり屋」	山添村伏拝888-1 (神野山観光協会内)	0743-87-0285
I	産直センター山添「花香房」	山添村大西1115-1	0743-85-0085 (産直センター) 0743-85-1187 (花直売所)
J	布目の里	山添村桐山32	0743-89-0640
K	曾爾高原ファームガーデン	曾爾村大字太良路839	0745-96-2888
L	街道市場 みつえ	御杖村大字神末6325 道の駅「伊勢本街道御杖」内	0745-95-2641



管内の概要

1) 地域の概要

管内は県の北東部に位置し、宇陀市、山辺郡山添村、宇陀郡曾爾村、宇陀郡御杖村の1市3村で構成されています。北部地域は高原状の地形が続き、南部地域は宇陀盆地と周辺の宇陀山地よりなり、豊かな自然環境に恵まれています。気候は年平均気温13.4℃、年間降水量約1,700mmであり、夏季は比較的涼涼で、冬季は降雨が少ない地域です。

2) 農業と基盤整備

都市近郊地域にあるので、兼業農家率が高く、農産物の直売等を介した都市との交流も活発です。野菜では、ホウレンソウ、トマト、レタス、キュウリ、ダイコン、ナス、ミズナ、シュンギクの産地指定を受けており、ホウレンソウを中心とした軟弱野菜が特産品となっています。また、近年では、地域の立地条件を活かした大和まな、黒大豆、小豆、ブルーベリー、クリの産地化が進んでいます。花き・植木では、シクラメンを中心とした鉢花、ダリアやカラー等の球根や切り花、台杉を中心とした植木類の生産が盛んです。また、北部地域では茶の栽培が盛んで、「大和茶」の主産地となっています。

農地造成や区画整理によって農業生産基盤の整備を進めた耕地では、水稻・茶・高原野菜・花き類等を中心とした作物が栽培されています。また、安定した収穫を確保するため、農業用ダムや用排水の整備を行うとともに、農作物の流通の合理化を目指し、農道整備を行っています。また、過疎化・高齢化に伴って生じる耕作放棄地の解消に向けて、比較的小規模なほ場整備や水路整備を行い、農村資源を活用した農村地域の活性化に取り組んでいます。

3) 林業と山地の保全

管内の森林は、ほとんどが民有林で、県下でも人工林化の進んだ地域です。人工林のおよそ半分は45年生以下の若い林分で、除間伐等の保育を必要としています。宇陀地域は、管内でもとりわけ林業の盛んな地域であり、吉野林業地帯に隣接していることから、技術的にもその影響を強く受け、一部の大規模森林所有者は優良大径材生産を目標とした林業経営を行っています。

県産材の安定供給を図るためには、地域内の林内路網を整備することにより、搬出コストを低減させることが不可欠です。そのため、森林組合等の事業体を中心となって林内路網の整備による集約化施策の推進を図るとともに、林業の担い手育成にも取り組んでいます。

一方では、治山事業により森林の多面的機能を維持し、山地に起因する災害を抑制することにより、県民の生命や財産を保全する、災害に強い安全で安心できる豊かな暮らしの実現を図っています。